

H23.12.10

避難住民のため 児玉龍彦氏講演会を開催

東京電力福島第一原子力発電所の事故により、避難生活をされている皆さんに、児玉先生のお話を直接聞いていただきたく、いわき市中央台の広野町仮設住宅集会所で実施しました。約50名の住民の方々が参加されました。



○プロフィール

児玉龍彦(こだまたつひこ)

1953年(昭和28年)3月22日生
日本の医学者、生物学者。東京大学アイソトープ総合センターセンター長兼東京大学先端科学技術研究センター教授専門は、内科学、分子生物医学、システム医学領域、血管システム分野。



会場は50名ほどで一杯となり、席を皆さんにつめてもらいながらの、膝突合せての座談会の様でした。放射線の基礎知識から始まり、その質問を受け、さらに双葉郡での除染の現状などに話が進みました。会場からは小さなお子さんのいる方からの質問など、いろいろな質問が出て、それに親切に先生は答えていただきました。先生の話は放射線知識、除染のみならず健康管理の重要性や避難生活、国の取組、住民の声を上げるなどの大切さなど、いろいろな面でのお話をして頂きました。

※会場の規模の関係で広く告知出来ませんでした。今後も先生に講演会をお願いし、双葉郡の住民の方々に正確な知識を提供する機会を作っていきたいと思えます。

～スタッフ～

会場をどんどん進めていかならないといけない。地域住民である私たちが、しっかりと考え・意見を持ち、声を上げ、行動することが必要だと、改めて感じました。先生は非常にお忙しい方で、講演会の終了後、すぐに浪江町に向かいました。献身的に私たち住民のために活動して頂いている先生に、双葉郡住民の一人として深く感謝申し上げます。